

らんざん重忠検定



© 嵐山町 2011

嵐山町

※この検定問題の中には、現在では、言い伝えや伝説とされているものも含まれています。

次の問題の答えとして、もっとも正しいと思われるものを1つ選び、^{かいとう}解答用紙に番号で答えましょう

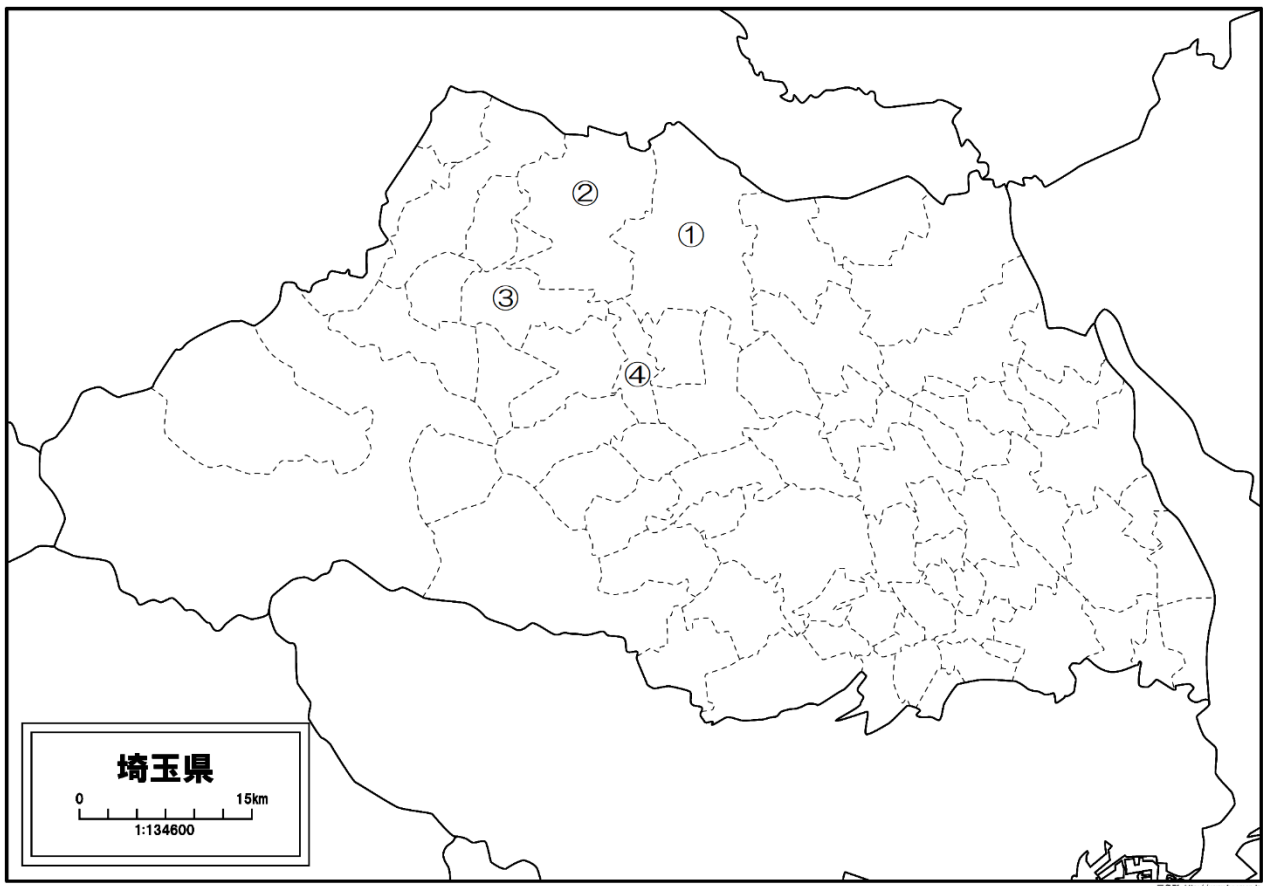
問1. ^{はたけやましげただ}畠山重忠が生きた時代は、いつの時代でしょうか

1. 平安時代～^{かまくら}鎌倉時代 2. 南北朝時代～室町時代
3. 室町時代～戦国時代 4. 戦国時代～^{あづちももやま}安土桃山時代

問2. 畠山重忠はだれの家来として^{かつやく}活躍したでしょうか

1. ^{にったよしさだ}新田義貞 2. 織田信長 3. ^{みなもとのよりとも}源頼朝 4. ^{おおたどうかん}太田道灌

問3. 畠山重忠が生まれたと伝わる、現在の市町村はどこでしょうか



問4. 『源平盛衰記』の中で、畠山重忠は父親が平家に仕えていたこともあり、当初は平家に味方していましたが、勢いよく進攻してくる源氏の大將に仕えることとしました。その時、重忠が大將の前で掲げた旗の色は何色でしょうか

1. 紫 2. 赤 3. 黒 4. 白

問5. 『源平盛衰記』の中で、源氏と平家が戦った一ノ谷の戦いにおいて、畠山重忠は険しい難所をある動物を担いで坂を駆け下りたとされています。その時担いだとされている動物は何でしょうか

1. 熊 2. 牛 3. 馬 4. 鹿

問6. 畠山重忠の時代に整備されたといわれる嵐山町を南北につらぬく当時の国道はどれでしょうか

1. 日光街道 2. 鎌倉街道 3. 奥州街道 4. 甲州街道

問7. 畠山重忠は強いだけでなく、立派な武士だったとそこらの物語に書かれています。その物語とはどれでしょうか

1. 保元物語 2. 源氏物語 3. 平家物語 4. 伊勢物語

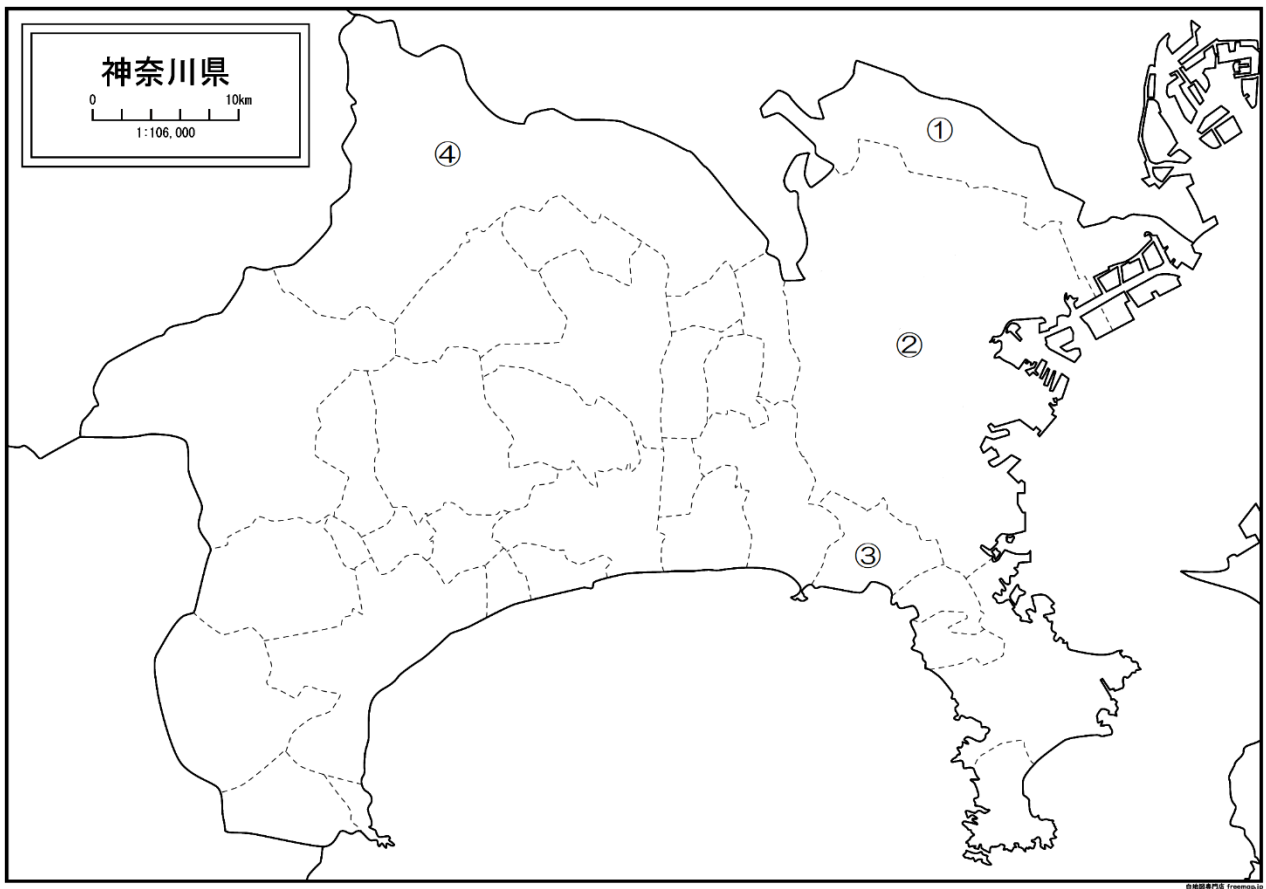
問8. 畠山重忠の怪力は知られていますが、音楽の才能もあり、今様(歌謡)の他に楽器を演奏できました。その楽器はどれでしょうか

1. 銅拍子 2. 鼓 3. 笛 4. 琴

問9. 畠山重忠は坂東武者・関東武士の と言われている

1. 先陣 2. 若武者 3. 棟梁 4. 鑑

問 10. 畠山重忠がころされたと伝わる二俣川^{ふたまたがわ}は、現在の神奈川県はどこにあるでしょうか



問 11. 畠山重忠は、何歳^{なんさい}まで生きたでしょうか

1. 42 歳 2. 52 歳 3. 62 歳 4. 72 歳

問 12. 1970 年代畠山重忠を題材にした歌が発表されました。その歌のタイトルはどれでしょうか

1. 重忠音頭 2. 重忠節 3. 武蔵^{むさし}武士 4. 重忠の唄^{うた}

問 13. 1929 年、地元の人たちの協力によって、畠山重忠像がつくられました

(1) この像は主にどのような材料で作られているでしょうか

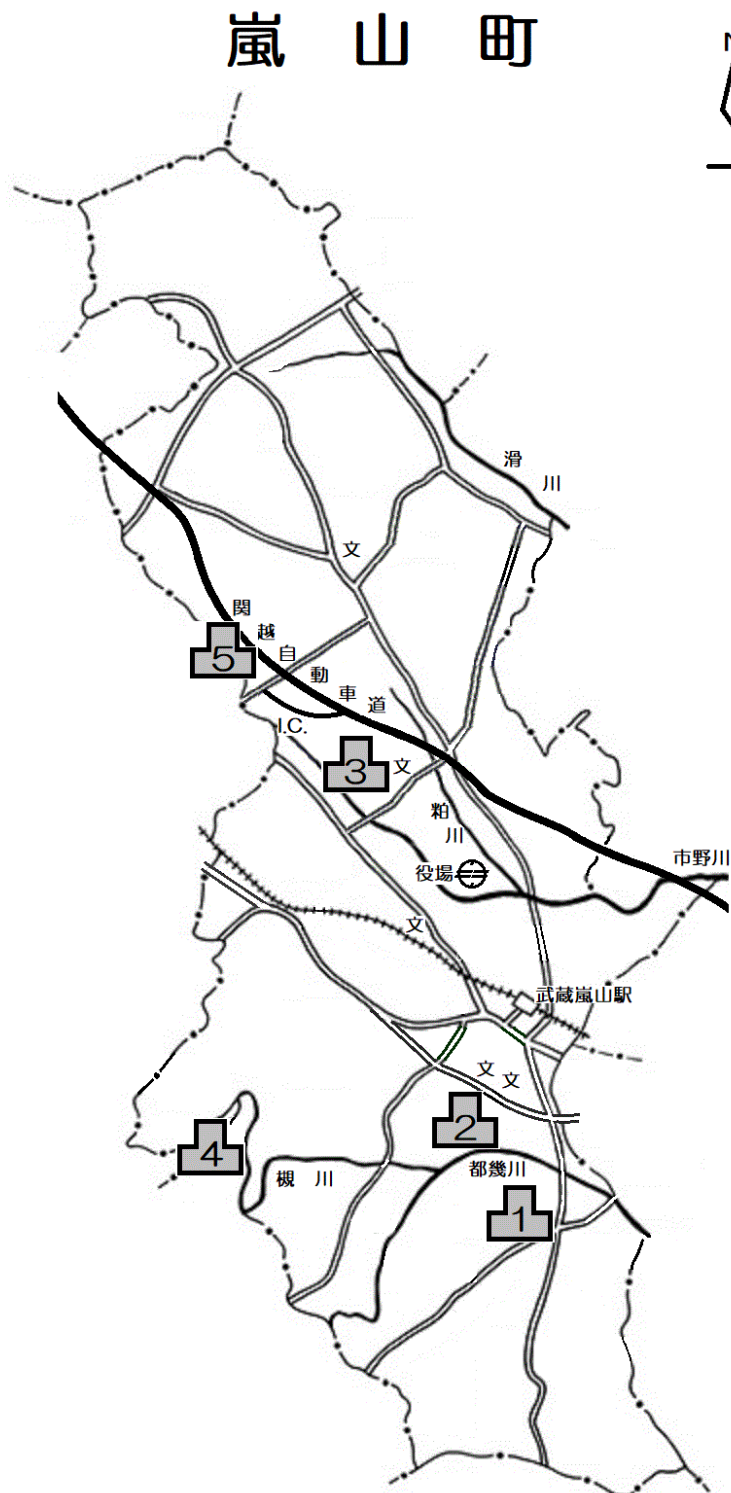
1. ブロンズ 2. 鉄^{てつ} 3. コンクリート 4. 木材

(2) この像の高さ（足元からかぶり物の上まで）はどれくらいでしょうか
1. 約 150 cm 2. 約 180 cm 3. 約 200 cm 4. 約 250 cm

(3) この像がかぶっているものは何でしょうか
1. 烏帽子^{えぼし} 2. 兜^{かぶと} 3. 手ぬぐい 4. 冠^{かんむり}

(4) この像はどの方向を向いて立っているでしょうか
1. 神戸 2. 京都 3. 東京 4. 鎌倉

(5) この像が立っている場所は、次の地図のどこでしょうか



問 14. 畠山重忠の館跡やかたあとの面積は、約 13 万平方メートルあります。これは東京ドームに換算かんさんすると何個分にあたるでしょうか

1. 2個分 2. 3個分 3. 4個分 4. 5個分

問 15. 畠山重忠の館跡をふくめ、4 つの城がまとめて国の史跡しせきに指定されています。これを「比企城館跡群ひきじょうかんあとぐん」と言います。では、次のうち、国指定史跡「比企城館跡群」にふくまれていないのはどの城跡でしょうか

1. 松山城跡 2. 杉山城跡 3. 小倉城跡 4. 腰越城跡こしごえ

問 16. 県立嵐山史跡の博物館には「重忠ロボット」があり、入館者に自分自身の功績こうせきなどを語りかけています。その「重忠ロボット」が言わないのは、どれでしょうか

1. わしは、たいへんな力持ちだったと評判ひょうばんだった
2. わしの父は畠山重能はたけやましげよし、母は三浦義明みうらよしあきの娘である
3. わしは、宇治川うじがわの合戦や一ノ谷の合戦、奥州征伐せいはつてがらで手柄を立てた
4. 鎌倉いへんに異変ありとの連絡を受け、わしは、この場所から鎌倉に向かった

※主な参考資料 社会科副読本『らんざん』
『菅谷館跡見て歩きガイド』